

国際ロータリー第 2790 地区 (千葉県) 第 8 グループ YOKAICHIBA ROTARY CLUB



週報

会長 川口 京子
副会長 鈴木 英人
幹事 鶴澤 宜広

広報・公共イメージ

向上委員長 大久保 要治

創立 昭和 37 年 (1962) 1 月 13 日

平成 29 年 (2017) 韓国富平 RC との姉妹クラブ締結

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 千葉興業銀行八日市場支店 (2 階)

事務局 千葉県匝瑳市八日市場イ 2571

TEL 090-8947-7851 (幹事)

FAX 043-332-9055

<http://yokaichiba-rc.jp/>



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I 会長 シェカール・メータ

(カル Катタ・マナガハル RC インド)

第 2790 地区ガバナー 梶原 等 (千葉 RC)

第 8 グループガバナー補佐 神崎 薫 (旭 RC)

No.2841

第 5 回例会

令和 3 年 8 月 10 日 (火)

千葉興業銀行八日市場支店 2 階例会場

例会プログラム

- 点 鐘 川口 京子会長
- ローターソング 「奉仕の理想」 斉唱
- 会長挨拶 川口 京子会長
- 幹事報告 鶴澤 宜広幹事
- 委員会報告
- 卓 話 元出光興産株式会社
奥本 康大様
- ニコニコ報告
- 出席状況報告
- 点 鐘 川口 京子会長



匝瑳市議会議員 都祭広一様

会長挨拶・・・川口 京子会長

本日のお客様



元出光興産株式会社 奥本康大様



皆さんこんにちは。出席ご苦労様です。
心配していた台風 9 号、10 号とダブル台風となりましたが豪雨はあったものの、それほどの被害はなかったようで安心しました。
本日のお客様は元出光興産株式会社の奥本様においでいただいております。後ほどお話を聞けることを楽しみにしています。そして奥本様をご紹介

してくださった都祭様にもおいでいただいております。いつもお世話になっております。先日、鶴野会員より八日市場ロータリークラブ創立40周年記念事業である、匝瑳市役所駐車場側に設置してある時計台が錆びて痛んでいる、ふれあいパークに植えたアメリカフーの看板が傾いているとも情報をいただき、早速幹事が確認してきてくれました。



植樹されたアメリカフーという木は、大正時代に北アメリカから渡ってきて、紅葉がきれいでまっすぐ伸びる樹形が美しく、街路樹や公園などに植えられています。現在の木も10m近くに育っているのでその影響で看板が傾いたと思われます。このアメリカフーは元々剪定をしない木なので、看板をまっすぐ直せるか検討したいと思います。色々傷んできたりはしていますが、このようなところを見るとクラブの足跡が感じられます。また何か気が付いた事がありました時にはお知らせください。さて、本日は大勢の出席をいただきましてありがとうございます。これはお弁当の効果なのか、奥本様の効果なのかいづれにしても嬉しい限りです。しかし、緊急事態宣言が発令中ですので8月の例会は残念ながら本日のみとなります。来月は、7日の例会は予定されていますが、その後の予定は理事会で決めさせていただきますので、決定しましたら皆さんにお知らせさせていただきます。なかなか思うように例会ができない状況が続いています。ロータリーは親睦が大切と言われています。親睦とは宴会だけが親睦ではありません。事業に従事するべき貴重な時間を割いて例会に参加してくださるのであり、皆さんにメリットが無くてはいけません。その為にプログラム委員会やS.A.Aが毎回の例会をどのようにしようかと考えていることを当たり前と思わず、例会に出席

することで敬意を表し、安否確認を含め、例会を大いに利用して楽しんでいただければと思います。現在はハイブリッド例会といってリアルとオンラインを併用して例会を行っておりますので、欠席される方はZOOMで参加できることをお忘れなようお願い致します。以上会長挨拶とします。

幹事報告・・・鶴澤 宜広幹事



◇例会場及び時間の変更

*成田空港南ロータリークラブ

緊急事態宣言発出のため8月の例会はすべて休会となります。

*銚子ロータリークラブ

8月11日(水)は定款により休会となります。
8月18日(水)24日(水)はオンライン例会となります。

*銚子東ロータリークラブ

8月の例会はすべて休会となります。

*佐原ロータリークラブ

8月の例会はすべて休会となります。

◇会報受領クラブ名

*本日はございません。

◇週報礼状

*本日はございません。

◇その他

*回覧・・・地区大会記念誌

ロータリー日本100年史

*梶原ガバナーより公式訪問の礼状が届いております。

*旭ロータリークラブより活動計画書が届いております。

*先日メール、およびFAXでもお知らせしましたが、千葉県にも緊急事態宣言が発出されております。そのため、来週17日(火)の例会はお盆のため休会、8月24日(火)と31日(火)

は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会とさせていただきますので皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

委員会報告

*本日はございません。

卓話者紹介

匠瑤市議会議員 都祭広一様



奥本様のご紹介を頂きました。

奥本 康大(おくもと こうだい) 氏プロフィール

昭和 25 年生 70 歳

現役時代は出光興産株式会社に勤務。

現在は保護司、調停委員として社会貢献に従事。

「空の神兵」顕彰会を主宰し、正しい戦争の歴史を後世に伝えるべく講演会、勉強会の開催ならびに慰霊碑、顕彰碑、記念碑の建立活動に取り組んでいる。

父、奥本 實は、昭和 17 年 2 月 14 日 インドネシア・スマトラ島パレンバン奇襲作戦に従軍、殊勲甲の手柄をあげ、陸軍中尉としては異例の昭和天皇に単独拝謁を賜った元軍人。(終戦時は陸軍大尉)

史実を世界に発信する会委員、二宮報徳会理事、新しい歴史教科書をつくる会千葉支部幹事。

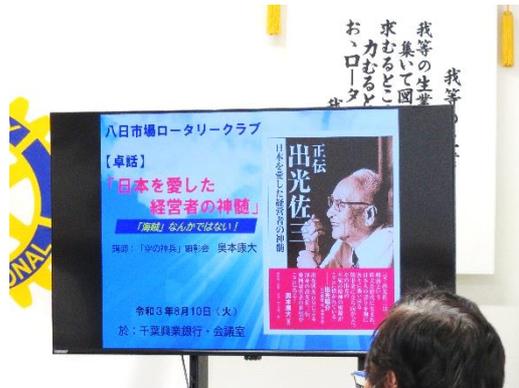
著書に「なぜ大東亜戦争は起きたのか？空の神兵と呼ばれた男たち」(共著者：高山正之)

「大東亜戦争、失われた真実」(共著者：葛城奈海)「正伝 出光佐三」がある



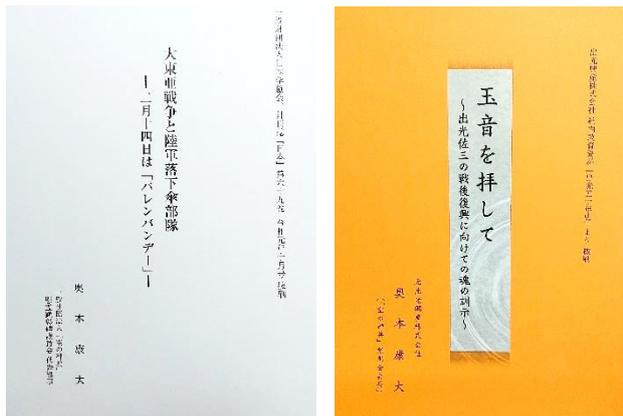
卓話

元出光興産株式会社 奥本康大様



皆さんこんにちは。過分なる紹介をいただきました出光興産元社員でありまして、歴史を後世に正しく伝える活動をしております。時間も限られている様ですので、いつもですと1時間半くらいしゃべっているんですが、今日は40分という形ですので足早にお話をさせていただきたいと思いません。今日は皆さんに色々な資料をお配りさせていただきました。まず1つ目の水色の表紙の資料をご覧ください。これは私の父の戦争時代の手記をまとめたものでございます。皆さんご存知無いかと思いますが、大東亜戦争でこの「パレンバン」の落下傘部隊が成功しなかったら、日本は1年ほどで敗れていた。今頃皆さんは英語をしゃべっていたかもしれないし、連合国の統治を受けて植民地になっていたかもしれません。そういった歴史が伝わっていないので、あえて歴史を伝えるよう

な活動をしています。帰ってじっくりとお読みいただきたいと思います。



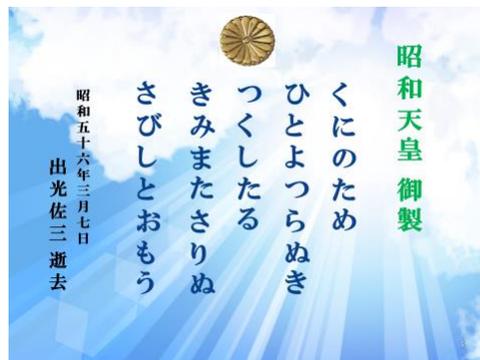
オレンジ色の冊子は出光佐三が戦後の日本の復興に向けて社員に訓示をした文章をそのまま載せさせていただいております。出光佐三は当時60歳で還暦でしたが日本を敗戦から復興しなくてはならないという思いから社員へ檄を飛ばしました。その檄文を載せさせていただいております。それほど出光佐三は愛国者であり、皇室を心から崇敬していた人間であります。そういったことをさせていただきたいと思っております。10年ほど前、百田尚樹さんという小説家がいて、「海賊と呼ばれた男」という小説をだして何百万部と売り上げを上げたということですが、それと映画化にもなりました。ある面、出光興産を紹介してくれたのですが、我々社員から見ますと真実を物語っていない、出光佐三は生粋の愛国者であって60歳から日本を立て直すために奮闘努力して、日本の高度成長を支えた人であります。ということをお伝えたいがためにこのような本を6月に上梓させていただきました。日本人はあまりにも歴史を知らなすぎる、自分の国を誇りに思っていない人が多すぎるということでその警鐘になればということで本を書かせていただきました。



出光佐三の素晴らしさは、石油会社の社長だったんですが彼の本質はそこにはありません。石油業で商売をしているだけではなく、日本を守るために自分は仕事をしているんだということを言っています。

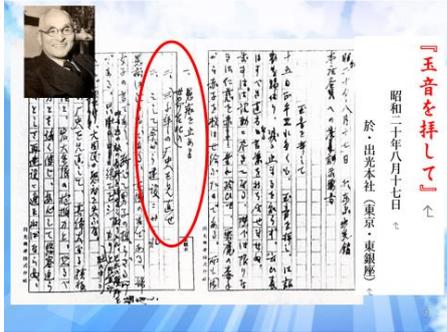
出光は石油業というような些事やっていたのではない、出光の真の目的は『人間が真に働く姿を現して、国家社会に示唆を与えよ』。私は石油配給を些事と言っておる。社内からも『些事とはなんですか、大事業をやっているじゃないですか』という抗議が出たくらいだ。けれども私は『石油配給なんてものはちっぽけなものじゃないか。私がやっているのは、人間というものはどうあるべきか、ということを実際に示すことだ。政治・教育すべてに人間のあり方を示すことをやっておるのだ』と言った

我々が出光に入社したら同じようなことを言われるんですけど、会社には定款というのがあります。定款というのは石油業です。出光には第二の定款があると教えられます。人間の真に働く姿を顕現して国家・社会に示唆を与えるというような大目標で企業経営をしていたのが出光佐三でございました。そのような立派な経営者であったのですが、百田尚樹さんに海賊呼ばわりされてしまいちょっと地に落ちたかなと残念に思いましたが、本当の姿を知っていただきたいということと、今日本は混迷しております。それを立て直すためには色々な日本の歴史を知ってもらい、戦争の歴史も知っていただきながら日本再興に向けて皆さんと力を合わせて頑張っていく必要があると思います。

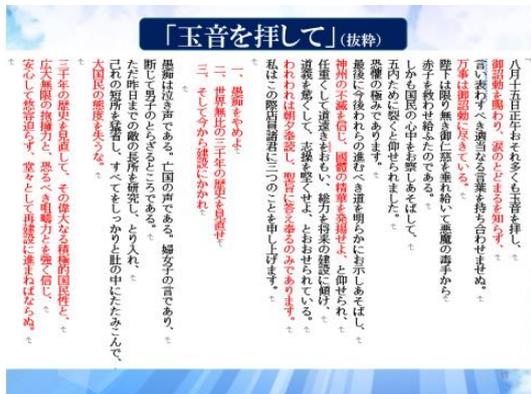


これは出光佐三が逝去した時に昭和天皇が謳われた御製です。こういったことは民間人に対してあり得ないことです。それを昭和天皇は出光佐三を評価されて御製を詠まれたということがございます。昭和天皇は3名の方に御製を詠まれております。一人は南方熊楠、牧野富太郎、そして出光佐

三です。亡くなってすぐに詠まれたのは出光佐三だけです。戦前・戦中・戦後を通じて常に日本の復興のために邁進していたということを昭和天皇は頼もしく思われ御製をつくられたということです。



出光佐三は終戦の玉音放送を聞いて社員に対して檄を飛ばしました。昭和20年8月17日、東京東銀座の出光本社に社員を集め、「玉音を拝して」ということで訓示を述べています。「愚痴をやめよ、世界無比の三千年の歴史を見直せ、そして今から建設にかかれ」玉音放送というのは昭和天皇の一つのフレーズだけをとりえてものすごく悪いことをしたみたいで8月15日が近づくと流れますが、終戦の詔勅を全部読んでいただければ、連合国に原子爆弾や大都市への空襲などやられたが、戦争を止めなければ民族は滅んでしまう。これから再建しようというメッセージです。それがマスコミなどの誤った誘導によって皆さんは間違ったことを信用していますが、出光佐三は玉音放送を聞いて「そうだ。やっぱり日本を再建しよう」ということで社員にメッセージを送っています。

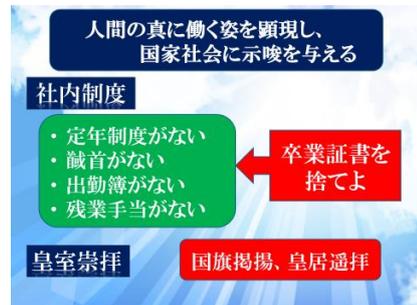


昭和天皇のおっしゃりたいことをきちんと理解して、これから再建にとりかかろうというメッセージです。このような腹の座った、将来を見据えた判断をしていた経営者です。日本の皇室を中心とした文化、歴史を出光佐三はきちんとわかっていました。「三千年の歴史を見直して、その偉大なる積極的国民性と広大無限の包容力と、恐るべき咀嚼力とを強く信じ、安心して悠容迫らず、堂々

として再建設に進まねばならぬ。」ということを言っています。日本はこんなことで、たった1度の戦争で負けてはいかん。再建に取り掛かれる国民性であるということ自信を持って言っている素晴らしい経営者でありました。大国民の態度を失うなどと言っておられます。世界を見ますと侵略国がたくさんあります。日本は三千年も繋いできた歴史のある国であるからよくよすると言っています。



出光佐三の経営理念は人が資本です。出光興産は今ではグローバル化で株式も公開していますが、当時は資本金10億円、商いが3兆円までいってました。人が資本で働けば負債は返していけるという考え方の基に資本金はたったの10億円でした。私が入社した時も10億円でした。よく言われます日本の一番の伝統であります、八紘一宇の考え方、日本人がすべて家族であるという精神を企業にも織り込んでやっていた。「家族主義」という言葉で表せるような、社員はみんな子供である、というかたちでお互い助け合い、企業を大きくしていこうという考えです。今でこそ消費者本位という言葉がありますが、出光佐三は戦前からお客様のために尽くすのだ、金儲けではない、といったお客様本位の経営をしていました。そして出光佐三は色々な経験をしています。神戸高商という学校をでて、自分は現場から商売を学ぶということでたった数人の個人商店に入りました。そこは潤滑油と小麦粉を扱う本当に小さな店でそこで一から経営理論を学び、その後独立しました。そう言った考えが出光にはあります。「現場をわからずして経営を語るなかれ」という指導を我々も受けました。

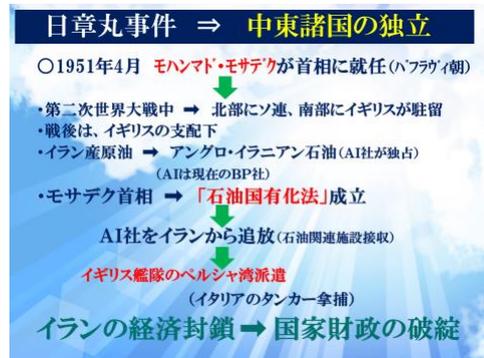


社内にはルールがありませんでした。今でこそ労基の違反だと言われますが、定年制度がない、歳首がない、出勤簿がない、残業手当がない、家族で助け合って生きようという感じの会社でした。先程申しましたように出光佐三は下から叩き上げて色々なことを学ぶんだという考え方なので、毎年の入社式には「卒業証書を捨てよ」という言葉を言っていました。私は技術系で入社しましたが、製油所で3交代勤務を3年しました。それは良かったと思います。やはり色々なところで働く人の気持ちが分かるというのはそこに身を置かないと分かりません。事務系の方はスタンドでガソリン注ぎをみんなやっています。「小さな仕事ができない人は大きな仕事はできない」という考えのもと、入社したら卒業証書を破り捨ててひたすら現場の仕事に没頭するという社員の教育制度でありました。そして少し変わっているのは皇室を心から崇拝していました。日本は皇室があるから平和が維持できる、皇室のおかげだということで私がいた事業所では朝礼で皇居遥拝を毎回やっていました。最初は抵抗を感じましたが、毎日繰り返していくと、皇室というものを学んだり、皇室のありがたさを学んでいく、新入社員教育の中には皇室について学ぶカリキュラムがありました。日本の素晴らしさを教えていくということを会社全体で取り組んでいる変わった会社でありました。

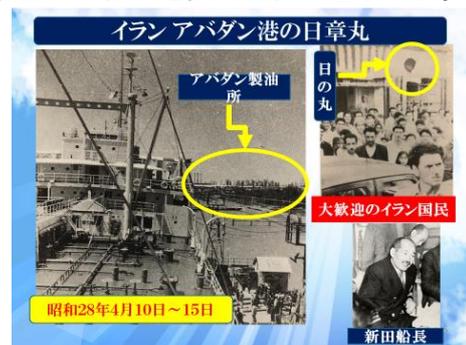
戦後の出光(再建に向けて)	
昭和20年	8月15日 終戦 (出光佐三60歳) ・海外資産消滅 ⇒ 250万円の借金
昭和20年	8月17日 社内訓示 (玉音を拝して) ・愚痴を止めよ ・世界無比の三千年の歴史を見直せ ・そして今から建設にかかれ ⇒ 800人の引揚者「一人も首は切らない」
昭和21年	ラジオ修理業、タンク底作業
昭和24年	元売指名 ⇒ 日章丸二世就航
昭和28年	イラン石油輸入(日章丸事件)
昭和32年	徳山製油所竣工 (昭和38年天皇陛下ご視察)

出光は明治44年に創設しました。門司で創業しました。たった5人くらいで創業し、戦前はものすごく苦労しました。なかなか物が売れず、色々な知恵を使いながら物が売れる工夫をしていきました。そんな中で漁船に油を売るということで、知恵を使って海の上で海上給油をはじめ軌道に乗らせました。そのようなときに海賊というあだ名も付けられたようです。それから中国大陸に進出し、満州では非常に苦労したそうです。満州鉄道に色々な提案をし、冬でも凍らない潤滑油を供給することによって段々と大きな会社になっていきました。出光佐三は研究熱心で、お客様のために本当に必要な商品を提供してきたので徐々に販売が伸びました。しかし、戦後は本当に苦労の連

続でしたが、日本のために我々がやらねば。ということで商売を続けました。当時は石油業務はできませんでしたが、ラジオの修理業やタンク底作業で1,000人の社員のクビを切らずに生活を保障しました。漁業、農業、出版業もやりました。そのようなことをやりながらGHQにはいりこんで戦後の石油産業の在り方を説いてまわっていました。GHQは石油を販売する権利を出光に与え、それにより出光は再建でき、日本が再建でき高度成長に繋がったということです。



昭和28年3月～5月にかけて、イランへ行き石油を買付てきました。これには前段階がたくさんあり、昭和26年にサンフランシスコ講和会議があり、日本の主権が回復するという調印式がありました。その翌年までは占領下におかれている状況の中、出光佐三は18,000トンの船を作り日本に良い石油製品を供給しようと東奔西走しました。昭和27年にはサンフランシスコへ石油を買い付けに行っています。当時イランはイギリスに統治されていました。イランはイギリスからの独立を宣言し、イランで採掘される石油を国有化しました。それを受けイギリスはイランへ石油を買い付けにきたら拿捕すると世界へ向けて発信しました。実際イタリアが買い付けに行き拿捕されています。そのような中、出光佐三はあえてイランへ買い付けに行き、上手く運んで日本へ帰ってきました。イランへ直接買い付けに行ったことで石油の価格が3割ほど安く提供できました。



どこの国も買い付けにきてくれなかったイランへ遠く日本から買い付けにきてくれたということでイランの人たちは狂喜乱舞で日の丸を持ち、棧橋

へ駆けつけました。それほど歓迎されました。しかし、残念ながらイギリスが違法だということで裁判に訴えました。法廷で、日本の裁判官は出光の正当性を認め、イギリスの訴えを退けました。



安い原油を大量に運ぶことでコストダウンを図りました。



出光佐三は本当に海賊だったのでしょうか？出光佐三ほど陰徳を積んだ人はございません。出光佐三は高額納税者だったので貴族院議員でした。そのような人が海賊と呼ばれてしまいました。門司にいた頃、商工会の会頭をしていました。その時に関門トンネルを開通させました。それによって本土と九州の物流が大幅に変わり日本の発展に貢献しました。そして宗像大社を35年かかり再築しました。それと福岡教育大学の分校を1か所に集め、一つの大学で学べるようにしました。戦後公職を追放された学校の先生や軍人の支援もしていました。そのようなことは百田尚樹さんの海賊と呼ばれた男には出光佐三の愛国心、国家観、皇室観は一つも載っていません。それを伝えなければ日本人が出光佐三を誤解してしまうし、日本の一番大切なものが伝わっていかないということで端を発し、私が力もないのにこのような本を書いたということでございます。



10年ほど前、グローバル化ということで日本が強くなることを妨害したアメリカの工作が仕向けられました。出光が10億円で3兆円の商いをしているのがおかしいということで銀行に貸し渋りをするようにしました。そのようなことがあり、株式を公開しました。昭和シェルとの合併などもあり出光佐三の経営理念が継承されなくなっています。国歌斉唱も現在は無くなりました。そのようなことをしていたら中国の思うがままだと私は思っています。心の拠り所をなくす魔の手が押し寄せているので、正しい歴史を伝え、日本の素晴らしさを知って自身と誇りを持ち直すということが我々の仕事だと思っています。残念ながら出光佐三の理念がどんどん消えています。皆さん経営者の方ばかりだと思いますが、会社の理念というのは伝えていく事が大切なと思います。ご清聴ありがとうございました。



謝 辞・・・川口京子会長



本日は元気になるお話をいただき、身の引き締まる思いです。暑い日が続きますがお体ご自愛ください。本日はありがとうございました。

ニコニコ BOX 報告・・・熱田文彦親睦委員長



- ◇鶴野 航三君 終戦の年生まれです
世界が平和でありますように
- ◇鈴木 勝彦君 奥様誕生祝をいただいて
- ◇青木 真人君 二つ良いことがありました
- ◇川口 京子君 奥本様ありがとうございました

9,000円
累計 127,000円

出席状況報告・・・熱田寛明出席委員長



項目	会員総数	出席数	出席率%
本日 8/10	39名	27名	71%
前回 8/3	39名	23名	64%

◎出席免除者数 7名

○点 鐘 川口京子会長

✿本日のお弁当✿ 「川千家」

例会風景



千葉県にも緊急事態宣言が発出されました。その為 8月の例会予定が変更となります。

8月17日(火) お盆のため休会

8月24日(火) 新型コロナウイルス
染拡大防止のため休会

8月31日(火) 新型コロナウイルス感
染拡大防止のため休会

